



水生生物、Get！

Ⅱ期のはばたき学習について、子どもたちと相談しました。

「まだ暑いから、川に行きた～い！」

「集合学習で川に行った時、生き物があまりいなかったら、今度は捕まえたい！」

「まだ行ったことがない川がいい！」

なじょもんの方に相談して、水生生物がいそうな下島川に行くことにしました。

出かける前に体育の学習をして汗をかいていたので、川に入ると「気持ちいい～♪」「最高！」と子どもたち。網を持って、夢中になって水生生物を探しました。すると、10分もたたないうちに、バケツの中にサワガニがたくさん！さらに、ヤゴ、ドジョウ、カジカ、カワニナなどいろいろな生き物を捕まえました。「元気がないドジョウはすぐに川に放そうよ。」「赤ちゃんガニは逃がしてやろう。」「大きいカニは“親分”って名前にしよう。」と、いろいろな会話が飛び交っていました。

活動後、「サワガニ、家に持って帰りたいな。」「魚を飼いたいな。」と話す子どもたちがいました。講師の先生から、「持って帰るとこの生き物はどうなるかな？」と問われると、「死んじゃうかも…。」「弱っちゃう。」と子どもたち。そっと逃がす姿が見られました。

子どもたちのふり返り

○わたしは、生き物が苦手だったけれど、みんなといっしょにやったら楽しかったです。

○津南の川は、生き物がたくさんいて、楽しい場所だなと思いました。

○黒いはねのトンボがいました。カニがいっぱいいてびっくりしました。10ぴきぐらいつかまえてうれしかったです。

○津南町の川にこんなにたくさんの生き物がいるのか、とおどろきました。

○サワガニは、中くらいの石がある場所にいます。下島川のように水がきれいで、石の多い場所をこのんでいると思いました。



Ⅱ期も子どもたちの思いを大切にしながら、津南町の“おたから”をたくさん発見したいです。持ち物の準備、ありがとうございました。

どうすると廊下を歩ける？

休み時間になると体育館までの廊下を全力で走って行く姿がたくさん見られます。そこで、2階で一緒に過ごしている4年生と、廊下の歩き方について話し合いました。「走ってはいけないこと」はよく分かっている子どもたち。では、どうするとそれを守って歩くことができるのかを、3・4年生混合のグループで考えました。

「ポスターを作って、呼びかければいいんじゃない？」

「一人一人が気を付ければいいよ。」

「廊下の床にテープを貼って、注意するのはどう？」

「走れないように、廊下の真ん中に段ボール箱とか置けばいいんじゃない？」
「倒すと壊れる花瓶がいいよ。」



どれもよく考えられています。今後は、それぞれのクラスや学年で、これらの方法を実行していく予定です。そして、また自分たちの行動を振り返っていきます。4年生と力を合わせて、自分たちの問題を自分たちで解決する力を育みたいと思います。

「多様性」って？

社会福祉法人十日町福祉会の庭野純愛さんを講師にお迎えし、「人によって多様な見方や考え方があること」を教えていただきました。その後、感情は人によって違うことを授業を通して感じた子どもたちです。

子どもたちのふり返り

- 自分と人とは、ちがうかんじょうをもっているとわかった。だから、あいての気持ちを考えて行動していけたらいいと思った。
- みんな人それぞれだから、人のまねをしないで、自分のやりたいことをしようと思いました。
- 自分とちがうからといって、仲間外しやさべつをしない
自分から人のことを分かってあげたい。
- 人のこせいをばかにしないようにしたいです。
- 一人一人のせいかくがちがうことがよく分かりました。



この日は次の学習が体育でした。ポートボールというボールを使う運動の後、ルールや勝敗についての言い合いが続いていました。「運動が得意な人も苦手な人もいる、人によって感情が違うと学習した後、実際の生活に活かすときだよ。」と伝えました。そして、体育の学習後…。残念ながら言い合いをする子どもたちがいました。すぐに自分の感情をコントロールするのは難しいですね。しかし、実際の場面で友達のいろいろな言動を受け入れたり、許したりすることが大切だということを感じるよい機会となりました。

社会科の学習で、クリアウォーター津南に見学に行きます

- ・日時：2組…9月22日（月） 1組…24日（水） 9：40学校出発
 - ・持ち物：水筒、内ばき入れ（記名する）、宿題、連絡帳、連絡袋、筆箱
- *リュックで登校します。この週は、25日（木）までに体操着を持ってください。